

ギャラリー
11

アートフィールドウォーキングガイド

2021 vol.11 (通巻 439号)

GALLERY

[私の10点] 入江 観

特集 西会津国際芸術村の今

アート松井塾 松井守男×高本陽一

11月の全国美術展【美術館／百貨店／画廊】スケジュール&マップ



ギャラリーためながパリ店



ギャラリーためなが京都店

ギャラリーためながパリ店が 50 周年 大回顧展・レセプションを開催 日本から世界への発信にも力を注ぐ



爲永清司（中央）、清剛（右）、清丸（左）の「ギャラリーためなが」三代

ギャラリーためながパリ店が50周年を迎えた。これを記念し「50周年大回顧展」が10月9日から11月6日まで開催中だ。開催に先立ち10月7日・9日にレセプションが行われ、コロナ禍に留意しながらも約500名の出席を得た。カシニョールをはじめ多くのアーティストも訪れ、大盛況だったという。

ギャラリーためながは1969年に日本で西洋絵画の名匠を扱う画廊として誕生した。当時は西洋絵画の名匠の作品に触れる機会は国立西洋美術館な

ど数館に限られた状態。個人コレクターの蒐集は未だその幕明けの訪れは遠いのが現状だったという。

そんな中ギャラリーためながは東京・銀座で産声を上げた。フランス政府の厳格な芸術保護政策のもと作品をフランス国外に持ち出すこと自体が困難な時代だった。にもかかわらず創業者・爲永清司は1950年代に渡仏して以降育んだフランスでの交友関係―パリを代表する画廊ポール・ペトリデスをはじめベルナル・ビュフェ、藤田嗣治、荻須高徳らの画家、そしてフランス屈指のコレクターら―による尽力で門外不出の名品を数多く招来させることができたのだ。

1971年にいち早くパリ店を開業した当時を清司はこう振り返っている。

「私はパリで最も巨大で優雅なギャラリースペースを持つことで知られるロマネ画廊のオーナーに出会いました。彼は高齢

を広げ、新鋭作家の紹介に力を注ぐようになってきた。

この3月に京都店が開廊したものそうした流れの一環だろう。東京、大阪に続き国内では3店

のために閉鎖することになり、私は幸運にもそのスペースを引き継いで自分のギャラリーを開くことになりました。当時、多くのアーティストがマティニオン通りで作品を展示することを夢見ていました。それは多くの人にとっての憧れであり、私にとっての憧れでもあったのです。それが、現在の「ギャラリー・タメナガ」の原点なのです」

アイズベリ、コタボ、ギアマン、フサロ、カシニョール、ワイズバッシュ、フェルナンデス、チェン、クリストファーら多くのアー



「50周年大回顧展」のために制作された図録

舗目、フランス・パリ店も含めれば4軒目の拠点は、日本の優れた作家を世界に発信していくことを掲げている。

佐野ぬい、深尾力三、智内兄助、範島正雄、小川泰弘、菅原健彦、細川貴司、吉川民仁、中村ケンゴ、村本真吾、岩田壮平、藤原由葵、梶岡俊幸、大沢拓也、大竹寛子、北川麻衣子、山本大也、江川直也―「日本文化史の中心である京都に於いて百年、千年後にも残るべく芸術作品を一覧にいれることが出来ればと念じる所存です」と清司からバトンを受け継いだ爲永清嗣社長は語った。

「50年の時を経て息子の清嗣と孫の清丸がギャラリーを引き継ぎ、新たな物語が始まるとうとしています」と清司は50周年の挨拶を締めくくった。



55130

「レ・アル地区」 65 × 54cm

生誕120年 荻須 高德 展

11.13sat - 12.5sun

月・土 11:00 - 19:00
日・祝 11:00 - 17:00



ギャラリー ためなが

www.tamenaga.com

中央区銀座 7-5-4 (03) 3573-5368



9784860473402

ISBN978-4-86047-340-2 C9071 ¥800E

株式会社ギャラリーステーション

TEL 03-3865-0088

定価 880円(本体800円+税10%)



1929071008007